

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鎌倉市児童発達支援センターあおぞら園		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 14日 ～ 令和7年 2月 7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 14日 ～ 令和7年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家庭との連携の中で療育を展開している	ケース会議、職員会議、朝礼、夕礼等で職員全員で児や家庭の状況を理解し、ご家庭への支援の具体化を探っている。	外部講師も含めた保護者研修会を定期的に開催する。
2	本園の療育活動の内容に満足している児童が多い。	児童一人ひとりの強みや好きなこと、特性を把握し、活動内容を吟味し提供している。	一人ひとりの児童の検査内容、その状況を更に把握しながら、他事業所の活動内容も取り入れ、児童にとって魅力的な活動をブラッシュアップする。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育を行える部屋が少ない。	昭和50年代の建物のためか、個別療育の視点が薄かった。	既存の部屋の見直し、専門職の出動日の調整
2	各マニュアルの内容が保護者の方々に理解されていない。	定期的な周知と書面等での周知をしていない	定期的な周知と書面等での周知をする
3			